

定期検査報告書

（防火設備）

（第一面）

防火設備 記載例

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁 山梨県知事 様

所有者と管理者が異なる場合は管理者を記入

令和〇年 〇月 〇日

報告者氏名 山梨 太郎

検査者氏名 山梨 次郎

【1. 所有者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】 ヤナシ タロウ
【ロ. 氏名】 山梨 太郎
【ハ. 郵便番号】 000-0000
【ニ. 住所】 〇〇市△△1-1-1
【ホ. 電話番号】 055-000-0000

調査者が2名以上の場合は代表となる調査者

【2. 管理者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】 ショウシヤニオナジ
【ロ. 氏名】 所有者に同じ
【ハ. 郵便番号】
【ニ. 住所】
【ホ. 電話番号】

【3. 報告対象建築物】

- 【イ. 所在地】 〇〇市△△1-2-2
【ロ. 名称のフリガナ】 ホテル〇〇
【ハ. 名称】 ホテル〇〇
【ニ. 用途】 ホテル、飲食店

第二面6欄と整合性をとる

【4. 検査による指摘の概要】

■ 要是正の指摘あり（□既存不適格） □ 指摘なし

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日		
第 号		
係員氏名		

防火設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】	地上 5 階	地下 1 階
【ロ. 建築面積】	500	m ²
【ハ. 延べ面積】	2700	m ²

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】	昭和〇年 〇月 〇日 第 000 号
【ロ. 確認済証交付者】	■建築主事 □指定確認検査機関 ()
【ハ. 検査済証交付年月日】	昭和〇年 〇月 〇日 第 111 号
【ニ. 検査済証交付者】	■建築主事 □指定確認検査機関 ()

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】	令和〇年 〇月 〇日実施
【ロ. 前回の検査】	■実施 (令和〇年 〇月 〇日報告) □未実施
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】	■有 □無

【4. 防火設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】	(1 級) 建築士	(大臣) 登録第 00000 号
	防火設備検査員	第 号
【ロ. 氏名のフリガナ】	ヤマシ ジョウ	
【ハ. 氏名】	山梨 次郎	
【ニ. 勤務先】	〇〇建築設計事務所	
	(1 級) 建築士事務所 (山梨県)	知事登録第 0000 号
【ホ. 郵便番号】	000-0000	
【ヘ. 所在地】	〇〇市△△1-2-3	
【ト. 電話番号】	055-000-0000	

(その他の検査者)

【イ. 資格】	() 建築士	() 登録第 号
	防火設備検査員	第 B000000 号
【ロ. 氏名のフリガナ】	ヤマシ サブロー	
【ハ. 氏名】	山梨 三郎	
【ニ. 勤務先】	株式会社〇〇	
	() 建築士事務所	() 知事登録第 号
【ホ. 郵便番号】	000-0000	
【ヘ. 所在地】	〇〇市△△1-1-2	
【ト. 電話番号】	055-000-1111	

防火設備検査員は
B から始まる番号

【5. 防火設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】

- ☐ 区画避難安全検証法 (階)
☐ 階避難安全検証法 (階)
☐ 全館避難安全検証法
☐ その他 ()

【ロ. 防火設備】

- 防火扉 (15 枚) ■ 防火シャッター (2 枚)
☐ 耐火クロススクリーン (枚) ☐ ドレンチャー (台)
☐ その他 (台)

散水ヘッドの合計個数を記入

【6. 防火設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ■ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 防火扉、防火シャッター

【ハ. 改善予定の有無】 ■ 有 (令和〇年 〇月 に改善予定) ☐ 無

【7. 防火設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ■ 有 ☐ 無

【ロ. 不具合記録】 ■ 有 ☐ 無

【ハ. 改善の状況】 ■ 実施済 ☐ 改善予定 (年 月に改善予定) ☐ 予定なし

「要是正の指摘あり」の場合は
指摘の概要を明記

改善予定がある場合は改善予
定年月日を明記

【8. 備考】

前回検査時以降に把握した不具合等で
今回検査時に確認されなかったもの
※不具合の詳細は第三面に記載

※第二面6欄【イ. 指摘の内容】について

別記第一号～第四号の検査結果表で、要是正の指摘ありの項目のうち

◆ 全て既存不適格の場合

→ 既存不適格にチェック

◆ 1つでも既存不適格でないものがある場合

→ 要是正の指摘ありのチェックのみ

(第三面)

防火設備に係る不具合の状況

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善（予定）年月	改善措置の概要等
令和〇年〇月	防火シャッターの連動機構	手動閉鎖装置の前に物品が置かれていて操作できない	令和〇年〇月	物品の撤去

前回検査時以降に把握した不具合等で今回検査時に指摘されるもの以外のもの

原因が不明な場合は「不明」と記載

改善を行う予定がない場合は「ー」

改善を行う予定がない場合は、その理由を明記

※前回検査時以降の不具合を把握していない場合は第三面省略可

(注意)

1. 各面共通関係

- ① ※印のある欄は記入しないでください。
- ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。

2. 第一面関係

- ① 検査者が2人以上のときは、代表となる検査者を検査者氏名欄に記入してください。
- ② 1 欄及び2 欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。
- ③ 第二面の6 欄の「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた場合においては、4 欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第二面の6 欄の「イ」において、「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せて4 欄の「イ」の「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

3. 第二面関係

- ① この書類は、建築物ごとに、防火設備の概要及び当該防火設備の構造方法に係る検査結果について作成してください。
- ② 2 欄の「イ」及び「ロ」は、検査対象の防火設備を有する建築物に関する直前の確認について、「ハ」及び「ニ」は、検査対象の防火設備を有する建築物に関する直前の完了検査について、それぞれ記入してください。
- ③ 2 欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。
- ④ 3 欄の「イ」は、検査が終了した年月日を記入し、「ロ」は、検査対象の防火設備に関する直前の報告について記入して下さい。
- ⑤ 3 欄の「ロ」は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑥ 3 欄の「ハ」は、前回の定期検査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入してください。
- ⑦ 4 欄は、代表となる検査者並びに検査に係る防火設備に係る全ての検査者について記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1 人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ⑧ 4 欄の「イ」は、検査者の有する資格について記入してください。検査者が防火設備検査員である場合は、防火設備検査員資格者証の交付番号を「防火設備検査員」の番号欄に記入してください。
- ⑨ 4 欄の「ニ」は、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所の場合は、事務所登録番号を併せて記入してください。
- ⑩ 4 欄の「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、検査者が法人に勤務していない場合は検査者の住所について記入してください。

- ⑪ 5 欄の「イ」は、建築基準法施行令第 128 条の 6 第 3 項に規定する区画避難安全検証法により区画避難安全性能が検証された建築物のときは「区画避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第 129 条第 3 項に規定する階避難安全検証法により階避難安全性能が確かめられた建築物のときは「階避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第 129 条の 2 第 4 項に規定する全館避難安全検証法により全館避難安全性能が確かめられた建築物のときは「全館避難安全検証法」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れ、「区画避難安全検証法」の場合は区画避難安全性能を検証した階を、「階避難安全検証法」の場合は階避難安全性能を検証した階を、併せて記入してください。建築基準法第 38 条（同法第 66 条、同法第 67 条の 2 及び第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定による特殊構造方法等認定、同法第 68 条の 25 第 1 項の規定による構造方法等の認定又は建築基準法の一部を改正する法律（平成 10 年法律第 100 号）による改正前の建築基準法第 38 条の規定による認定を受けている建築物のうち、当該適用について特に報告が必要なものについては「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、その概要を記入してください。
- ⑫ 5 欄の「ロ」は、検査対象の防火設備について、チェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、防火扉、防火シャッター、耐火クロススクリーンについては、個々の扉又はカーテン部ごとにその枚数を計上し、その合計を記入してください。ドレンチャーについては、散水ヘッドの合計の個数を記入してください。「その他」の場合は具体的な内容と台数を記入してください。
- ⑬ 6 欄の「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第 3 条第 2 項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑭ 6 欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。指摘の概要を記入する場合にあっては、当該防火設備が設置されている区画の概要を明記してください。
- ⑮ 6 欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）、当該指摘を受けた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑯ 前回検査時以降に把握した火災時の防火設備不作動等機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他の劣化に起因するもの（以下「不具合」という。）について第三面の「不具合の概要」欄に記入したときは、7 欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合について記録が有るときは 7 欄の「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは 7 欄の「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面に記入された不具合のうち当該不具合を受けた改善を既に実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には 7 欄の「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マー

クを入れ、第三面に記入された不具合のうち改善を行う予定があるものがある場合には7欄の「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入し、改善の予定がない場合には7欄の「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

- ⑰ 各欄に掲げられている項目以外で特に報告すべき事項は、8欄又は別紙に記載して添えてください。

4. 第三面関係

- ① 第三面は、前回検査時以降に把握した防火設備に係る不具合のうち第二面の6欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。前回検査時以降不具合を把握していない場合は、第三面を省略することができます。
- ② 「不具合を把握した年月」欄は、当該不具合を把握した年月を記入してください。
- ③ 「不具合の概要」欄は、当該不具合の箇所を特定した上で、当該不具合の具体的内容を記入してください。不具合の概要を記入する場合にあつては、当該防火設備が設置されている区画の概要を明記してください。
- ④ 「考えられる原因」欄は、当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入してください。ただし、当該不具合が生じた原因が不明な場合は「不明」と記入してください。
- ⑤ 「改善（予定）年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を記入し、改善を行う予定がない場合には「－」を記入してください。
- ⑥ 「改善措置の概要等」欄は、既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。

概要書 記載例

第三十六号の九様式（第六条、第六条の三、第十一条の三関係）（A 4）

定期検査報告概要書

（防火設備）

（第一面）

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】ヤマシ タロウ

【ロ. 氏名】山梨 太郎

【ハ. 郵便番号】000-0000

【ニ. 住所】〇〇市△△1-1-1

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】ショウウシヤニオナジ

【ロ. 氏名】所有者に同じ

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

報告書の内容と相違がないよう記入する

【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】〇〇市△△1-2-2

【ロ. 名称のフリガナ】ホテル〇〇

【ハ. 名称】ホテル〇〇

【ニ. 用途】ホテル、飲食店

【4. 検査による指摘の概要】

☒ 要是正の指摘あり（☐ 既存不適格） ☐ 指摘なし

【5. 不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☒ 有 ☐ 無

【ロ. 不具合記録】 ☒ 有 ☐ 無

【ハ. 不具合の概要】防火シャッターの連動機構

【ニ. 改善の状況】 ☒ 実施済 ☐ 改善予定（ 年 月に改善予定）

☐ 予定なし（理由： ）

指摘なしの場合、第二面の添付は不要

防火設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】	地上 5階	地下 1階
【ロ. 建築面積】	500	m ²
【ハ. 延べ面積】	2700	m ²

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】	令和○年 ○月 ○日 第 000 号
【ロ. 確認済証交付者】	■建築主事 □指定確認検査機関 ()
【ハ. 検査済証交付年月日】	令和○年 ○月 ○日 第 111 号
【ニ. 検査済証交付者】	■建築主事 □指定確認検査機関 ()

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】	令和○年 ○月 ○日実施
【ロ. 前回の検査】	■実施 (令和○年 ○月 ○日報告) □未実施
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】	■有 □無

【4. 防火設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】	(1級) 建築士	(大臣) 登録第 00000 号
	防火設備検査員	第 号
【ロ. 氏名のフリガナ】	ヤマシ ジョウ	
【ハ. 氏名】	山梨 次郎	
【ニ. 勤務先】	〇〇建築設計事務所	
	(1級) 建築士事務所	(山梨県) 知事登録第 0000 号
【ホ. 郵便番号】	000-0000	
【ヘ. 所在地】	〇〇市△△1-2-3	
【ト. 電話番号】	055-000-0000	

報告書の内容と相違がないよう記入する

(その他の検査者)

【イ. 資格】	() 建築士	() 登録第 号
	防火設備検査員	第 B000000 号
【ロ. 氏名のフリガナ】	ヤマシ サブロー	
【ハ. 氏名】	山梨 三郎	
【ニ. 勤務先】	株式会社〇〇	
	() 建築士事務所	() 知事登録第 号
【ホ. 郵便番号】	000-0000	
【ヘ. 所在地】	〇〇市△△1-1-2	
【ト. 電話番号】	055-000-1111	

【5. 防火設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】

☐ 区画避難安全検証法 (階)

☐ 階避難安全検証法 (階)

☐ 全館避難安全検証法

☐ その他 ()

【ロ. 防火設備】

■ 防火扉 (15 枚)

■ 防火シャッター (2 枚)

☐ 耐火クロススクリーン (枚) ☐ ドレンチャー (台)

☐ その他 (台)

報告書の内容と相違がないよう記入する

【6. 備考】

(注意)

この様式には、第三十六号の八様式に記入した内容と同一の内容を記入してください。
第二面は、同様式第二面において指摘があつた防火設備についてのみ作成し、第一面に添えてください。

#

検査結果表
(防火シャッター)

当該検査に関与した検査者	代表となる検査者	氏 名	検査者番号	
	山梨 次郎	検査者が1名のみの場合は記載不要	1	
	山梨 三郎		2	
調査項目ごとに調査者の番号をそれぞれ記入				
番号	検査項目	検査事項	検査結果 指摘なし 要是正 既 存 不 適 格 担当検査者番号	
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況	
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	
(3)			スプロケットの設置の状況※	
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	
(6)			カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況
(7)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	
(10)		危険防止装置 (人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。)	危険防止用連動中継器の配線の状況	
(11)			危険防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況	
(12)			危険防止装置用予備電源の容量の状況	
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況	
(14)			作動の状況	
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	
(16)		感知の状況		
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	
(18)		スイッチ類及び表示灯の状況		
(19)		連動制御器	結線接続の状況	
(20)			接地の状況	
(21)			予備電源への切り替えの状況	
(22)			連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況
(23)			容量の状況	
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況	
(25)	手動閉鎖装置	設置の状況		
(26)	総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況		
(27)		防火区画の形成の状況		
上記以外の検査項目				
	危険防止装置は既存不適格か確認	付加項目がないため記入不要		
特記事項				
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善の具体的内容等	改善（予定）年月
(5)	防火シャッター（駆動装置）	ローラチェーンの腐食	錆を除去し、防錆処理を行う	令和〇年〇月
		要是正の指摘があった場合又		
(注意)				
① この書類は、建築物ごとに作成してください。				
② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。				
③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。				
④ 該当しない検査項目がある場合は、その「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。				
⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。				
⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。				
⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。				
⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。				
⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。				
⑩ ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。				
⑪ 「上記以外の検査項目」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。				
⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。				
⑬ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。				
⑭ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。				